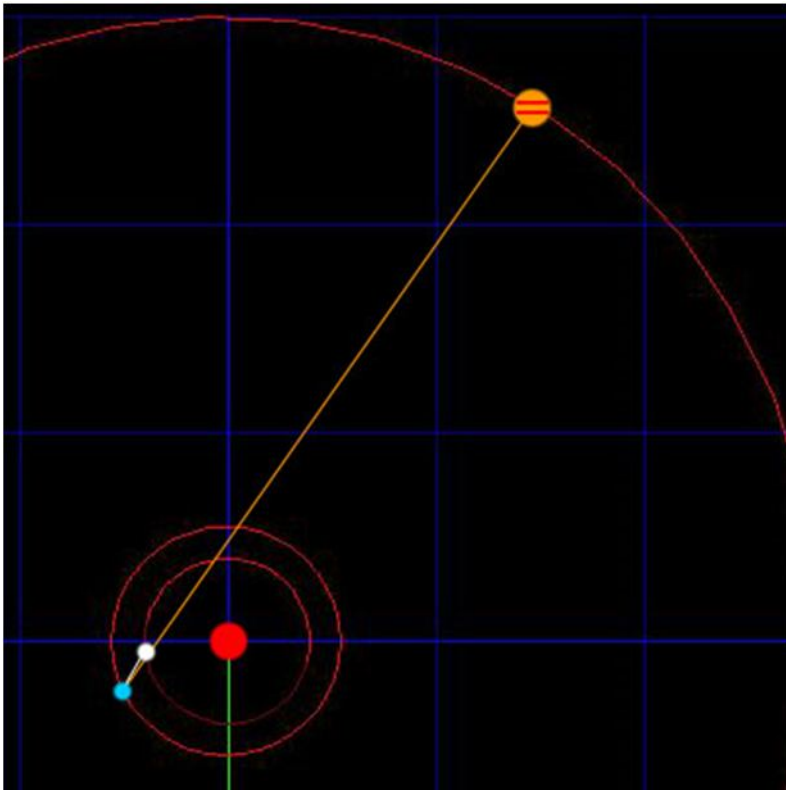


## 「太陽系をゆっくり眺める (1)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋



もし太陽系を、地球の公転軸の真上から見る事ができたら、現在、左の図のようになっているはずである。青が地球、白が金星、橙が木星である。地球から見て、金星と木星がほとんど重なっていることがわかる。実際に両者の離角はわずかに $6^\circ$ しかない。これが現在、金星と木星が見かけ上接近して見える理由である。

太陽系の惑星は、ほとんどが「黄道面」という平面(円盤)上を回っている。多少の上下のズレはあるが、図のように離隔が小さいと、見かけ上非常に接近して見えるのである。

昨日の宵は、これに三日月が加わって、実に豪華な眺めとなった。

「太陽系遠望図」 2015, -7, 19

作図 ; C. Tanaka (The Sky で計算・加筆)

昨夜、西の空を眺めていただけたでしょうか? 八王子は曇っていたそうだが、都内はどうだったでしょうか? 都内では $35^\circ\text{C}$ 近くまで気温が上がったそうだが、夕方の北軽井沢は気温 $22^\circ\text{C}$ 、微風。誠に快適な天体観望日よりだった。しかしこういう時に限って、雲が邪魔するものである。残念ながらこの日の夕方も、西の低い空に雲が横たわっていた。

しかし、あきらめてはいけない。三日月は満月に比べるとずっと暗いが、他の星に比べたら圧倒的に明るい。計算では金星は $-4.5$ 等、木星は $-1.8$ 等で、薄曇りなら見える可能性はある。私は、西の視界が開けた高原野菜畑の道に車を置いて、キャンプ用の椅子にドッカーリと座って、「太陽系」が現れるのをひたすら待った。



待つこと 1 時間、幸運にも天体が沈む空域だけ、完全に雲がどいてくれた。そして見事な「太陽系」が姿を現した。あまりにも美しかったので、私は自分だけで見るには惜しいと思い、地元の友人を呼び寄せた。高原野菜畑のド真ん中で、にわかづくりの「太陽系観望会」を開催した。その写真は、明日ゆっくり紹介したいと思う。

「当日の西の空の様子」 北軽井沢

2015, -7, 19 / 19:20 ごろ

雲の中にかすかに三日月が見える。